

鍋倉山(2/23)山スキー報告

【山城】 関田山脈・鍋倉山

【日程と天気】 2019年3月23日（土）曇り（朝は小雪）

【メンバー】 CL 菊池・斎藤（健）・会員外3名

【行程】

千葉ー豊田飯山 IC ー温井ー台地ー西ノ沢右岸ブナ林ー稜線（黒倉山との鞍部）ー鍋倉山山頂ー北東急斜面（標高差 200m）滑走ー稜線ー西ノ沢右岸ブナ林滑走ー台地ー温井ー馬曲温泉（梨ノ木荘泊）



・今期2回目の鍋倉山、パウダーの匂は前週までと考え期待薄で出発、弱い冬型の影響で小



雪が舞った。温井の積雪はこんな感じで2週間前と比べ、それほど減っていない。2週間前の連休には35台位が路上駐車していたが、地元のご厚意で臨時駐車場が設置された。臨時駐車場は除雪されたスペースが2か所で収容台数は12~13台ほど。見回りに来た地元の方がおしゃっていたが、駐車位置によっては融雪のため、帰りにスタックしJAFに助けってもらったとのこと。今回はパウダー時期が終了のためか駐車している車は少なく15台ほど。

- パックパウダーが硬い下地の上に10cm前後、滑りやすいエリアを物色しながら雪の止んだブナ林を快調にシール登山気回復を願ったが稜線から山頂付近はガスガスの風もやや強くそそくさと滑走準備をして記念撮影、休憩している先行者は皆無であった。



- 今回のメンバーは足並みがそろっており山頂からダイレクトに急斜面ブナ林を滑走することにした。上部は風で飛ばされガリが露出している部分もあるが、ややパックされたパウダーに覆われているもエリアのほうが多い。それほど滑りにくくないがスピードが出すぎるため、コントロールしながら慎重にアルペンターンを交えて慎重に滑走した。鍋倉初挑戦のSKさん、リズムカルに急斜面プチパウダーツリーランを楽しんでいます。



- 標高差約200mのまあまあの滑走感を味わい、再度登り上げです。天気も回復傾向になり霧氷の気持ち良いブナ林を稜線に向かってハイクアップです。稜線からはガスも切れて

関田山脈が奇麗です。記念撮影して、さあ 2 本目のパウダー滑走です。青いテムレスの SK さん嬉しそうです。



・雪煙を舞い上げ SK さんエントリーです。絵になる稜線のテレターンです。雪煙上げる小生のテレターンです。



斜度が緩むと気持ち良いターンを楽しんでいる最高齢の SA さん。SK さんのシャッター



チャンスはなかなか良いですね。予想以上の気持ち良いプチパウダーを堪能できた一日でした。好天のザラメの時期に山頂でまったりしたく再度訪れたい気持ちですね。宿は今回も馬曲温泉・梨の木荘でした。翌日はチーム福島と合同で久しぶりに妙高前山滝沢尾根です。

20190223鍋倉山BCスキー

距離	10.3km
記録時間	05:44:35
最低高度	538m
最高高度	1,308m
累計高度(+)	1,075m
累計高度(-)	1,098m
平均速度	1.8km/h
最高速度	23km/h
消費カロリー	2111kcal
座標精度	★★★★★
接続率	0.2%